

FP 概論		講義	教授 岡野 武志
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目	科目ナンバリング	23010202

1. 授業のねらい・概要

この授業では、パーソナルファイナンスのさまざまな分野について、FP（ファイナンシャル・プランナー）に求められる基礎的な知識をわかりやすく説明する。人生に関わるお金について学ぶことで、将来の見通しを立て、合理的に判断するための基礎的な力を身につける。また、FPの業務内容を理解し、FP資格の取得にも興味をもってもらうことをねらいとする。なお、この科目を受講するにあたっては、「ファイナンス入門」を履修していることが望ましい。

2. 講義の進め方

第1回では、FPの仕事内容や職業倫理、FP試験の概要などについて講義形式で説明する。第2回～第14回では、FPに求められる基礎的な知識について、FP技能士3級用のテキストを使って講義形式で説明し、適宜、FP技能士3級レベルの小テストも実施する。第15回では、まとめと復習を行う。

3. 授業計画

1. FPの資格と業務	8. タックスプランニング（1） （所得税の仕組み、損益通算）
2. ライフプランニングと資金計画（1） （ライフイベントと資金計画）	9. タックスプランニング（2） （控除・申告・納付）
3. ライフプランニングと資金計画（2） （社会保険）	10. 不動産（1） （不動産取引、不動産関連法令）
4. リスク管理（1） （リスクと保険）	11. 不動産（2） （不動産関連税制、不動産の有効活用）
5. リスク管理（2） （さまざまな保険、保険と税金）	12. 相続・事業承継（1） （贈与と相続、遺産分割と遺言）
6. 金融資産運用（1） （預金・債券と株式）	13. 相続・事業承継（2） （相続税、財産評価、相続対策）
7. 金融資産運用（2） （投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	14. FP業務（相談・提案）
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講する前に、テキストの該当部分や指定された資料等を使って予習し、授業後にはFP技能士3級レベルの実践的な設問等も利用して学習した内容を復習する。これらの準備学修には、2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験実施時に採点・評価のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

FPに関する基礎知識を理解して、FP技能士3級合格レベルの知識を修得する。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（60%：小テストの評価を含む）および定期試験の結果（40%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

TAC株式会社「2024-2025年版 スッキリわかる FP技能士3級」

テキストは、毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献等については授業内で適宜、紹介する。

9. 受講上の留意事項

ライフプランニングやFPの仕事に関心があることが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。